

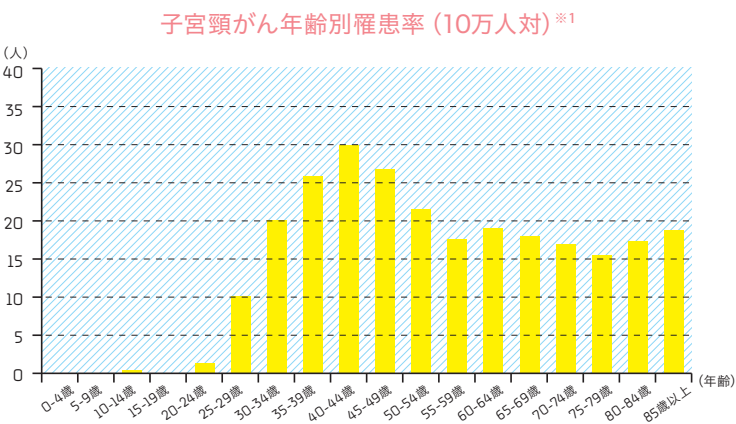
子宮頸がん検診のお知らせ



To:

From:

子宮頸がんは、20代後半以降から増え、特に30～40歳代の女性で近年増加傾向にあるがんです。



早期のうちほとんど
自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていないか？
子宮頸がんは感染から発症まで、平均5-10年かかり、
早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では
手遅れになる場合があります。

※1 出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」
地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975～2013年）

子宮頸がん検診ってどんな検査？

検査時間は15分程度。痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察
2. 細胞診



大きめの綿棒などで
子宮の入り口を軽く
こすって細胞を採取

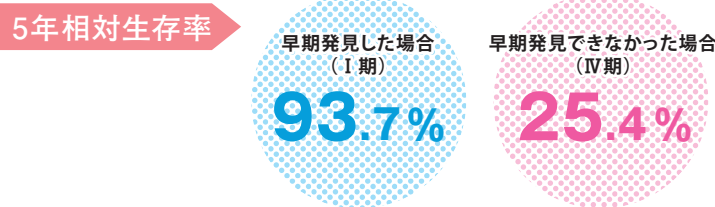
検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。 ※2
精密検査はコルポスコープ下の組織診・細胞診・HPV検査などを組み合わせて行います。

※2 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。

子宮頸がんはHPV（ヒューマンパピローマウイルス）への感染がきっかけとなります。感染してもほとんどの場合は一過性ですが、ごく一部の人が感染が継続し、長時間を経てがんになっていることがあります。
注）HPVは、一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があります。

子宮頸がんは、早期のうちに治療すれば、
90%以上が治癒します。 ※3

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治癒できるため、妊娠・出産も可能です。検診を受け早期発見・治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。



※3 ここていう「治る（＝治癒）」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協加盟施設における5年生存率（2010～2012年診断例）

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、月経（生理）以外に出血がある、月経が不規則などの症状がある場合は次の検診を待たずに病院へ行きましょう。

子宮頸がん検診は
2年に1度 必ず
受診してください



このリーフレットは、がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞が作成しました。

お住まいの市区町村から検査費用の助成があります！

多くの市区町村では、20歳以上の女性に、2年に1度、検査費用の助成があります。
今年度、助成の対象でない方も、多くは来年度の助成の対象となります。

子宮頸がん検診は、助成がない場合、1万円程度かかる検査です。ぜひこの機会に受診してください。
毎年、受診期限が近づくと大変混み合います。お早めにご予約・受診ください。

子宮頸がん検診を受けるには

検診について詳しくは

お住まいの市区町村のがん検診担当窓口にお問い合わせ
いただくか、市区町村のホームページをご確認ください。

〇〇市 がん検診

🔍 検索

※ 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。（医療機関の検診精度向上のため）

Step 0



市区町村からの案内や、
市区町村ホームページで確認する

・今年度の助成対象かどうか、検査費用

・受診できる医療機関、日程、時間 など

Step 1



実施医療機関や市区町村に直接予約

受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、
詳細は各医療機関にお問い合わせの上、ご都合にあった
医療機関に直接ご予約ください。
（市区町村によっては、予約が不要な場合もあります）

注）子宮頸がん検診は、生理日以外で受診してください。

Step 2



受 診

医療機関で、保険証を提示。受診費用を支払い、受診。
検査時間は15分程度。痛みはあまりありません。

Step 3



結果を確認する ※